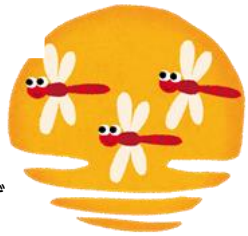
学校教育目標　かしこく、やさしく、たくましい子どもの育成

北串小だより

令和７年９月１日
No.7
雲仙市立北串小学校
文責　校長　池田安秀

「為せば成る」　第２学期スタート



第２学期がスタートしました。静かだった校舎の中に、子供たちの賑やかな声が響きました。夏休みの間、大きな事故や病気の報告は無く、一安心しているところです。本日は第２学期始業式を行いました。下は、本日の「校長の話」の一部です。今学期は、テーマを「為せば成る」としました。いろんなことに挑戦して「成し遂げることができる」学期であって欲しいと願っています。

おはようございます。夏休みは元気に過ごすことができましたか。今日から２学期が始まりました。気持ちの切り替えはできていますか。

それでは、今から、２学期に頑張ってほしいことの話をします。

まず、２学期のテーマを設定しました。そのテーマは**「為せば成る」**です。

１年間の中で一番長いこの２学期は、学習や生活、運動、家庭での生活をするにあたって、いろんなことに挑戦し、「為せば成る」の精神でがんばって欲しいです。

この写真の人は、マラソン選手の近藤亮太選手です。今年の冬、２月２４日に行われた大阪マラソンにおいて、「初マラソン　日本最高記録」を出した選手です。彗星のごとく現れたスーパーランナーと呼ばれています。この９月、世界陸上選手権大会が東京で開催されますが、そのマラソン男子の部に、近藤亮太選手が日本代表として出場します。島原市出身で、島原高校では、陸上部だった選手です。私の娘も島原高校の陸上部だったのですが、その娘の１つ下の後輩であることや、近藤亮太選手のお父さんは、私の友達ということもあり、今回の世界陸上大会への日本代表としての出場を、心からお祝いしています。頑張って欲しいです。現在は、三菱重工のマラソン部の選手です。

この近藤選手はどんな選手だったかというと、高校時代は、２年生のとき、全国都道府県駅伝大会に出場が決まりながらも、直前にインフルエンザになり、出場できませんでした。３年生のときも、全国都道府県駅伝大会に出場が決まりながらも、直前に骨折をして出場がかないませんでした。インターハイ予選では、北部九州大会で、負けてしまい、インターハイ出場の夢はかないませんでした。

それでも、近藤選手は、走ることをなげやりにしたり、腐ったりせずに、努力を続けていました。そして、順天堂大学に進み、大学４年生では箱根駅伝に出場し、アンカーを務め、チームの準優勝に貢献しました。しかし、素晴らしいタイムで走る、いわゆる「すごい選手」ではなく、大きな大会に出場することはできても、注目を浴びる程の選手ではありませんでした。その後、現在の三菱重工（長崎市）に入社します。ここで、近藤選手の才能が花開きます。

世界大会の選手に決まった時の記者会見では、本人がこんな話をしています。「大学生まで、大会で活躍するような選手ではありませんでした。でも、目標をもって、それを見失わずに努力してきました。社会人になってからも、目標を持ち、仲間と競い合いながら、毎日、小さいことを積み重ねてきました。」

近藤選手は、一流ランナーになる目標をもち、決してあきらめず、日々の努力を積み重ねてきた成果が日本代表としての、世界陸上大会出場となりました。

夢や目標に向かって、挑戦し続けている間は、何度うまくいかなくても、それは失敗ではありません。成功するまで、「夢や目標」に届くまで挑戦を続ければ、どれだけ時間がかかっても、「為せば成る」ことを、近藤亮太選手が証明してくれたと思っています。

ぜひ、この２学期は「為せば成る」をテーマに、みなさんがそれぞれの目標をもっていろんなことに挑戦していって欲しいと思っています。

以下省略・・・・・

そして、これから迎える『秋』という季節は、“読書の秋”“スポーツの秋”“食欲の秋”などと言われるように、時間的にも気候的にもじっくりと腰を落ち着けて、充実した教育活動が行える時期です。子供たちは、運動会、社会科見学（４年生）、秋探し探検（低学年）、ジャガイモ栽培（２・３年）、搾乳体験（４・５年）、持久走大会……、たくさんのことを体験します。このような体験をとおして、友達を認めたり、自分に自信をつけたり、集団で活動することの心地良さを感じたりします。一人一人がめあてに向かって、やる気を持って取り組み、実りの多い学期になることを願っています。

裏面もあります

９月の行事予定

日	曜	行　事	日	曜	行事
1	月	第2学期始業式　平和集会	15	月	敬老の日（祝日）
2	火	発育測定・視力検査（1～3年）	16	火	クラブ活動（6校時）
3	水	発育測定・視力検査（4～6 年）	17	水	公開授業（2・3年生　算数科）
4	木	授業参観・学級部会	21	日	家庭の日
		夏休み作品展（～１２日）	23	火	秋分の日（祝日）
9	火	クラブ活動（６校時）	29	月	委員会活動（6校時）

９月の生活目標
時間を守って、生活しよう

９月の保健目標
けがに気をつけよう

夏　休　み　作　品　展

夏休みの作品を展示・鑑賞することによって、自分の頑張りを振り返ったり、お互いの作品から学び合ったりする場を提供し、新たに創作意欲を喚起させ、自主制作、創意工夫する態度を養うことを目的に、下記のとおり、「夏休み作品展」を開催します。児童の力作を、是非、鑑賞していただきたいと思っています。

記

◇期日　令和７年９月４日（木）～１２日（金）
◇場所　北串小学校多目的ホール（３階）

北串小学校出身の政治家　松永東

シリーズ２

北串小学校出身の政治家、松永東さんをご存知でしょうか。松永東さんは長崎県南高来郡北串山村（今の小浜町）の出身。北串小学校の先輩です。文部大臣（今の文部科学省大臣）になって、道徳教育を科目化した方です。本校校長室には、「道徳修業」の書もあります。そんな松永東さんを、平成５年１月３０日、小浜町教育委員会発行「郷土読本　ふるさと小浜Ⅳ」で紹介してあります。読んだことがある方もいらっしゃることでしょうが、その内容を全７シリーズにして、ご紹介します。今回はその「シリーズ２」です。

２　上京の決意

家の手伝いをしているうちに、進学したいとの気持ちが強まり長崎の鎮西（ちんぜい）中学校の3年生に編入しました。長崎での友達が、「せっかく勉強するのなら東京で……。君も行かないか。」とさそいました。組合小学校の本多校長先生が、「いつまでもいたずら小僧でいてはならない。長崎では、将来のことを考えて、りっぱな人間になりなさい。」とはげましてくださったことを思うと長崎で勉強を続けるべきではないかと悩みました。しかし、中央で勉強をしたい気持ちは強く、父に相談してみました。父は「とちゅうでやめて上京するとは何事か。わが家は代々百姓だ。お前は一人息子で、あととりど。百姓でがんばれ。」と許してくれませんでした。しかし、「働きながらでも勉強したい。東京に行きさえすれば何とかなる。」と、つのる気持ちはおさえきれません。ついに、家の米を一俵(60キログラム)売って旅費をつくり、家出のようにして上京しました。